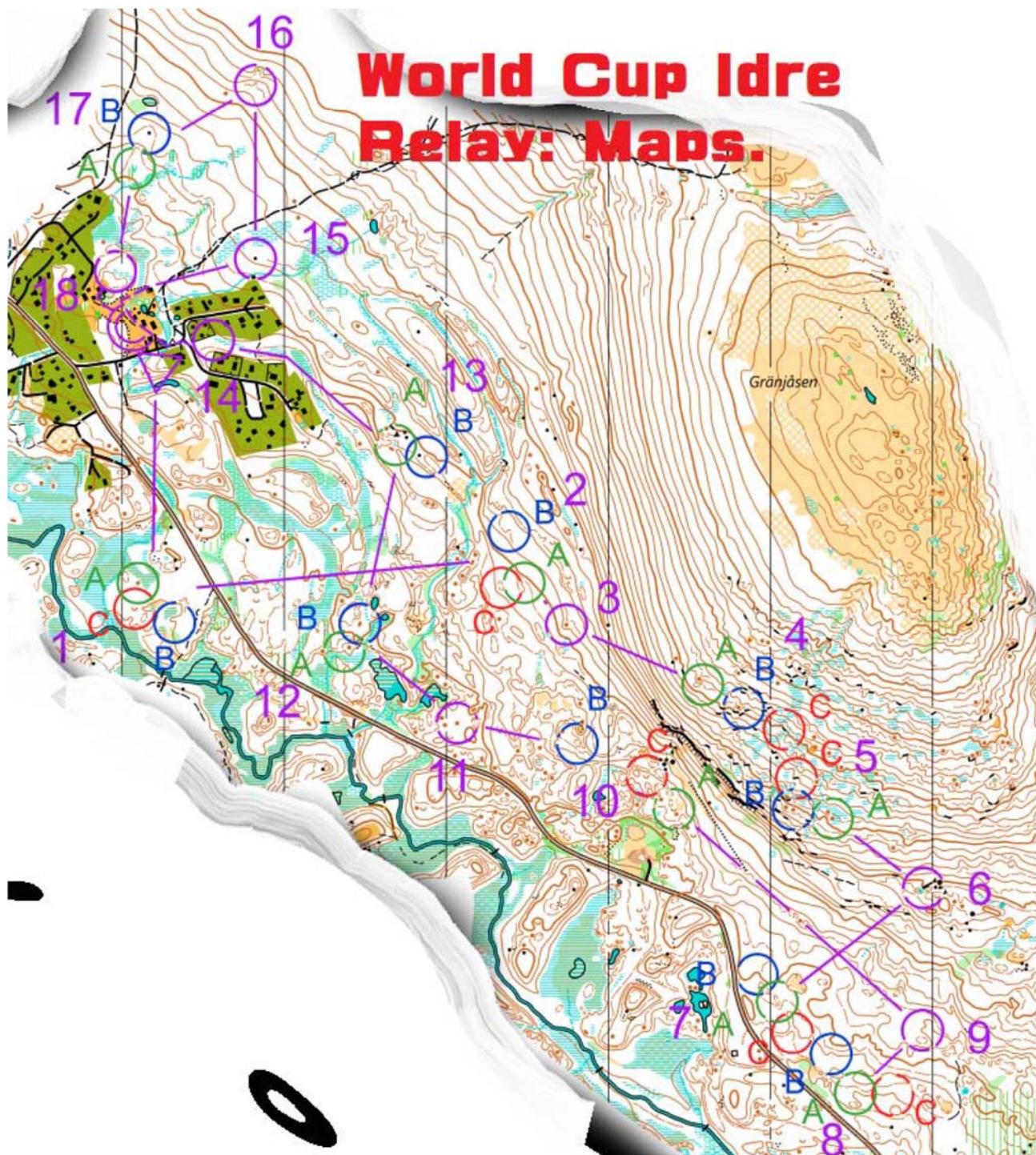




岸和田オリエンテーリング協会
[事務局] 〒583-0033
大阪府藤井寺市小山9-12-22
横田 実 (Tel090-4299-2997)
第455号 2021年9月12日発行



[KOLA-HP] <http://kola1975.mbsrv.net/>

[E-mail] kola_osaka@yahoo.co.jp

JWOC2021@トルコ ミドル決勝

2021年9月9日(木)

[JOA サイトより 抜粋]

ミドル決勝の応援どうもありがとうございました。森清選手のトップスタート、トップゴールは圧巻でした。会場、ライブ配信では、Morikiyo の名前が何度もアナウンスされました。37位はJWOC フォレスト種目で、もちろん歴代最高順位です。

ミドル決勝 成績

男子

優勝 Axel Elmblad スウェーデン 25:02 +00:00

準優勝 Viktor Svensk スウェーデン 27:15 +02:13

37位 Seiya Morikiyo 森清 星也 33:35 +08:33

女子 B 決勝

1位 Siana Senn スイス 27:55 +00:00

41位 Arisa Fukuda 福田 有紗 49:20 +21:25

51位 Suzune Kotajima 古田島 鈴音 59:47 +31:52

-- Rina Imai 今井 里奈 mispunched

男子 C 決勝

1位 Matti Bruns ドイツ 24:14 +00:00

7位 Hayato Kaneko 金子 隼人 27:34 +03:20

8位 Ryusei Irie 入江 龍成 30:26 +06:12

日本選手のコメントです。

地図やコースの難易度は自分にとって非常に高かったですが、前日の反省を踏まえてミスが少ないレースをすることができました。トップスタートの特権であるトップゴールができたのは嬉しかったです。A 決勝の舞台で緊張しましたが、レースを楽しむことができました。Long も好成績を残せるよう頑張ります！(森清)

今日は集中力がなく、小さいミスを重ねた感じでしたね。

ロングしっかり走りきれよう頑張ります。(金子)

Middle はボロボロでした。

簡単なのに上手いかないレースで最後のラスポ、せっかくなので猛プッシュしたらアナウンスされてうれしいです。

1日空けてロング思いっきり走れるように REST します。(入江)



Results 上位3人の平均に対する相対(%)

タイム 巡航速度 ミス率

2021/08/05 2021年度東大OLK夏場所3日目 in ニツ塚峠(青梅市)

M (出走19名)	2.5km	↑185m			
1 渡辺 円香	0:45:35	ES関東C			
2 山本 賀彦	0:45:48	OLP兵庫			
3 佐藤 諒平	0:58:21				
5 直井 萌香	1:01:58	KOLA	124.2%	114.9%	20.3%

2021/8/29-31

KOLAグループラインで

新型コロナウイルスワクチン接種状況を聞いてみました

(前回7/20-22の結果を併記)

匿名アンケート：回答者数15名	8/29-31		7/20-22
2回接種しました	13名	←	3名
1回接種しました	1名	←	5名
1回目の接種日が決まっています	0名	←	6名
未定(予約できていない)	1名	←	1名

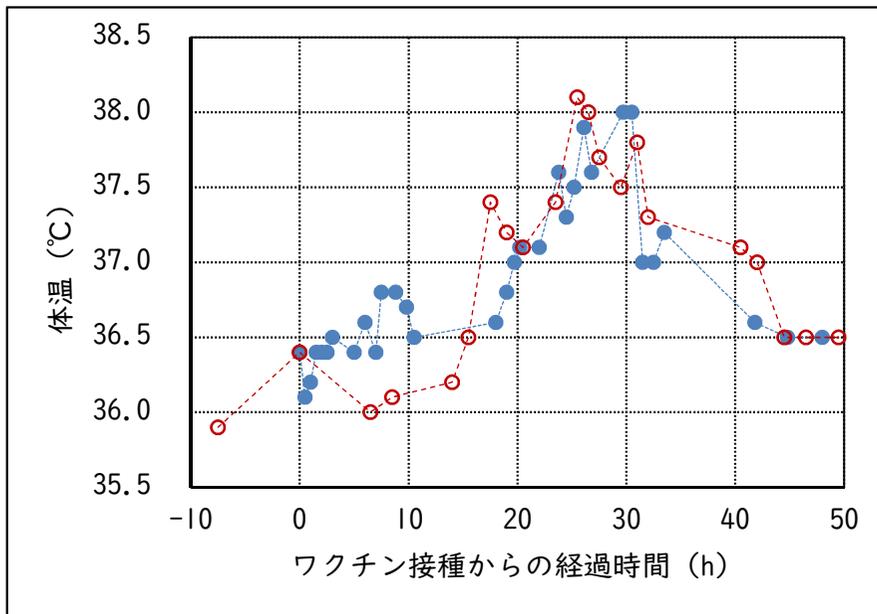
※この1か月で、KOLA会員のワクチン接種、一気に進みました。

接種形態について

匿名アンケート：回答者数14名

会社・学校等の職域接種	5名
自衛隊・都道府県の大規模集団接種	1名
市町村区の集団接種	5名
個別医院・病院で接種	3名

2回目ワクチン接種後の体温経過 (なかけん&ながせ)



経県値- 6 & 7

永瀬

山形県

初めての経県は、大学生（東京在住）の1991or92年に、18切符の余りを活用して、宇都宮（前日に東武線で移動していた）から東北線～奥羽線～山形～仙山線～仙台～常磐線～上野と1日ひたすら電車に乗って過ごした時で、この時は、電車の乗換で、山形駅に降り立ったことです。（経県値では、設地）

その後、いつかは、さくらんぼ大会と思っていましたが、なかなか都合が合わず参加が叶わないままさくらんぼ大会は2014年に最終回。その後、2017年7月15-16日に第5回留年大会が、山形（西蔵王）で、開催されるということで、スケジュールを調整し、2泊3日で参加することで、宿泊の機会を得ました。

第5回留年大会参加記（4年たってからうろ覚えでの執筆）

7月15日土曜日

朝一のフライトで山形空港に降り立ち、バスで山形駅へいったん移動。時間調整し、路線バスで会場へ。プログラムでは紹介されていなかった路線バス（バス停も少し離れている）を利用した記憶があります。

当日の流れは、スプリント拠点に会場から1時間かけて延々と登り、スプリントOを走り、その後、ダウンヒルOで、会場に戻りました。ナイトOまで、時間があるので、いったん山形駅に戻り、ホテルにチェックイン&夕食後に、再び会場へ。参加者の集合よりも運営者の再集合の方が遅かったところが留年大会らしいところでした。ナイトO終了後は、終バスが出発後なのでホテルまでの徒歩ルートも事前に調べていましたが、無事、大学の後輩車に乗ることができました。

2017/07/15 第五回留年大会スプリント in 西蔵王公園冒険広場						
浪人(出走165名)	2.2km	↑125m				
1 橋 孝佑	0:16:59	因子は割り引かれない				
2 伊藤 樹	0:17:05	稀によく留年する人				
3 細川 知希	0:17:20	ときわ走林会				
109 永瀬 真一	0:28:24	KOLA	165.8%	153.4%	19.0%	

2017/07/15 第五回留年大会ダウンヒルミドル in 西蔵王						
留年(出走166名)	3.5km					
1 細川 知希	0:28:32	ときわ走林会				
2 猪俣 裕貴	0:30:57	あざ留お0年LC				
3 橋 孝佑	0:31:04	因子は割り引かれない				
87 永瀬 真一	0:54:50	KOLA	181.7%	173.8%	19.8%	

進級(出走25名)						
	2.6km	↑15m				
1 中村 憲	0:26:42	青葉会	93.7%	97.6%	20.2%	
2 大林 俊彦	0:28:42	大阪OLC				
3 常住 紗織	0:30:03	ときわ走林会/転職したい(切実)				

2017/07/15 第五回留年大会ナイト in 悠創の丘						
中退B(出走63名)	3.0km	↑160m				
1 種市 雅也	0:23:47	駿台(浪人)				
2 齋藤 祐樹	0:25:29	浪人の空、留年の海				
3 竹内 元哉	0:27:44	1浪1中退を応援する会				
37 永瀬 真一	0:43:47	KOLA	164.5%	164.8%	16.1%	

卒業B(出走16名)						
	2.0km	↑115m				
1 中村 憲	0:31:45	青葉会	95.3%			
2 佐藤 あかり	0:32:58	真・女神転職				
3 齋藤 誠也	0:35:13	留年を知らぬ者たち				

7月16日日曜日

雨の中のウルトラロングを堪能しました。夕食では、「芋煮」「ひっぱりうどん」を堪能し、連泊し、翌日帰阪しました。

2017/07/16 第五回留年大会ウルトラロング in 西蔵王						
退職(出走46名)	10.1km	↑580m				
1 佐藤 誠也	1:58:06		小原和彦中退受け入れ校			
2 源後 知行	2:02:49					
3 角田 貴大	2:16:00		留年			
32 永瀬 真一	3:42:50	KOLA	177.4%	148.6%	27.5%	
転職(出走50名)	5.6km	↑315m				
1 東 将央	1:28:40		京葉OLクラブ			
2 中村 憲	1:31:48		青葉会	100.6%	100.7%	13.5%
3 小柴 滉平	1:33:23		就職留年はNO			

両日とも、なかけん氏の無難な参加クラスのチョイスが光ります。

第5回留年大会の詳しい様子が気になった方はOK-Infoの記事を。

[#33_ヤツらが「大会」運営に乗り出した！](#)

[第5回留年大会：第1部（スプリント、ダウンヒルミドル）](#)

[#35_運営者が来ないかと思った - 第5回留年大会：第2部（ナイト）](#)

[#36_実走20km!?!のウルトラロング！ - 第5回留年大会：第3部（ウルトラロング）](#)

福島県

初めての経県は、山形県と同様に大学生（東京在住）の1991or92年に、18切符の余りを活用して、宇都宮（前日に東武線で移動していた）から東北線～奥羽線～山形～仙山線～仙台～常磐線～上野と1日ひたすら電車に乗って過ごした時で、この時は、電車の乗換で、福島駅に降り立ったことです。（経県値では、設地）

その後、2004年に経験値-4で紹介した全日本大会（宮城県）の帰路、途中まで在来線乗り継ぎ、新幹線へ乗り換え時間の合間に新白河駅で下車し、駅前のラーメン屋に入り、経験値では、「訪問」に。

そして、宿泊の機会は2009年に母と尾瀬に行くことで、宿泊の機会を得ました。当時の会報の原稿を再掲。（当時、母は73歳、永瀬は姫路へ単身赴任し工場勤務でした）

夏が来れば思い出す、遙かな尾瀬

6/7～10の日程で、母親と尾瀬に行ってきました。行くことになって、いろいろ調べるまで知らなかったのですが、尾瀬は、新潟県、福島県、群馬県にまたがっています。



6月7日（土）

8:40、新大阪駅で母親と合流。まずは、9:00発の「のぞみ4号」で、東京へ向かいました。のぞみ4号にしたのは、たまたま時間的に都合が良いこともありますが、今春デビューしたN700系という新型の車両であることがポイントです。当然、乗り心地は、良好でした。東京駅には、11:33到着。山手線～上野駅～常磐線と乗り継ぎ、北千住駅で、東武鉄道に乗り継ぎました。12:41発「特急きぬ119号」で、鬼怒川温泉駅、鬼怒川温泉駅から野岩鉄道会津鬼怒川線に乗り継ぎ、15:23会津高原尾瀬口に到着

ここからは、宿からの迎えの車で、檜枝岐温泉せせらぎの宿 尾瀬野へ。既に、標高は900m近くあります。雨が降ってきて、明日が心配です。こちらの民宿、地元の山菜づくしの食事がおいしく、◎でした。

※檜枝岐は「ひのえまた」と読みます。



6月8日(日)

雨はあがり、良い天気。8:00に民宿前から沼山峠行のバスに乗車。他にお客さんは、いなくて寂しい限り、途中、檜枝岐温泉エリアで、ぼつぼつ乗車。バスは、川沿いの道を上り、標高1,513mの御池に到着。ここで、大量乗車。御池からは、一般車は通行規制なので、マイカー、観光バスの団体さんも、シャトルバスかこの路線バスに乗り換えなのです。さらに、上って行きます。陽当たりの悪そうなどころには、雪が残っています。9:00前に、標高1,699mの沼山峠に到着。ここの休憩所では、各団体さんが、ガイドの方の説明を受け、準備運動するのを眺めながら、ゆっくりと休憩。スパッツを装着し、準備を整えてから、出発。

最初の30分弱は登り。木の階段と木道上を行くのが基本ですが、まだまだ、雪が残っている部分があります。雪の残る場所は、必ずしも木道上でないところをたどっているところもあり、ところどころ、雪を踏み抜いた箇所も見受けられ、慎重に進みました。いつものオリエンテーリングの感覚だと、そこまで慎重にいきませんが、今回は母親と一緒になので。当たり前のことですが、歩くペースにも気を使います。幸い、後ろがのんびりな団体さん(危なっかしい人もいて、ガイドさんは大変)なので、そのペースより、すこし早めぐらいで進みました。30分ぐらいで、沼山峠展望台に到着し、小休止。その後は、くだって行きます。のんびり下ると、ところどころ、行き違い待ちがあるので、道ばたの草花を観察する余裕があります。このあたりも、オリエンテーリングと違うところです。降りきったところ(といっても標高1,664m)が、大江湿原。



ここからは、平らな湿原内の木道を、たどります。ちょうど、水芭蕉の最盛期で、あちこちに花を咲かせています。ちなみに、白い部分が、花に見えますが、この部分は、葉が変形した物で、実は中の円柱のものが多数の小さな花の集合体です。この区間、水芭蕉はきれいですが、木道をたどるのが必須で、ルートチョイスもなく、オリエンテーリングの感覚では、ちょっと退屈な区間です。11:00前には、尾瀬沼東岸に到着。尾瀬沼を眺めながら、早めの昼食(民宿で作っていただい



た弁当)としました。

母親の調子次第では、このまま山小屋宿泊ということも考えていましたが、まだまだ元気なので、尾瀬沼の北岸沿いを沼尻まで往復。この区間は、沼内の木道あり、ちょっと山中に入ったアップダウンありと変化があり、楽しめました。その後、山小屋(長蔵小屋)にチェックイン。割り当てられた部屋は、屋根裏部屋みたいなところでした。時間は、たっぷりあり、近くの尾瀬沼ビジターセンターで、尾瀬に生息する鳥や草花を勉強するなどのんびり過ごしました。

6月9日(月)

山小屋の朝は早く、7時過ぎには出発。まずは、尾瀬沼の南の三平下まで往復。こちらも、林の間の区間など変化があり楽しめました。尾瀬沼東岸からは、昨日の逆ルートで、のんびり沼山峠に向かいました。沼山峠展望台の直後、行き違いで、団体さんをやり過ごすため小休止していたら、声をかけてくる人がいてびっくり。



民宿のご主人さんで、ガイドのアルバイトとのことでした。沼山峠には、11:00頃到着。バスは12:30までないので、山小屋で作ってもらった弁当を食べつつ、昨日と同じく、団体さんが出発していくのを眺めて過ごす。ガイドさんによって、説明の仕方、準備運動の仕方が違うのでおもしろい。12:30のバスに乗車。時間はたっぷりあるので、檜枝岐では、民宿よりも手前で下車。まずは、檜枝岐名物の裁ち蕎麦(つなぎ粉を一切使わない生地で脆く畳むのが難しいため、生地を伸ばした後に数枚から十数枚重ねて裁つように切るところから、こう呼称されるようになったつなぎを使わない蕎麦)で、もう一度、昼食。その後は、檜枝岐の村内を散策しながら、民宿へ。小粒ながらいろいろなスポット(檜枝岐歌舞伎の舞台、橋場のばんば他)があり、有意義な時間がすごせました。尾瀬のハイキング以外で、楽しめたのは望外。この日は、土曜日と同じ檜枝岐温泉せせらぎの宿 尾瀬野に宿泊しました。

6月10日(火)

檜枝岐9:10のバスで檜枝岐を後にし、行きと逆の行程で、帰阪しました。

今回は、正月に、母親から尾瀬に行きたいというリクエストがあり、忙しいながらもスケジュールが調整できそうな(読みやすい)、6月上旬に行くことにしました。今回のスケジュールを決めた後も、いろいろな仕事が割り込まれそうだったのですが、母親のリクエストに応えるのだということで、皆さんに好意的に、スケジュールを調整していただきました。(皆さん、親孝行は、できるときにしなさいと、言っていただきました。)

この時期、年によっては、たくさん雪が残っていて、水芭蕉が全く咲いていなかったり、逆に、暖くなるのが早すぎて、水芭蕉のシーズンが終わっていたりする年もあるなか、結果的に、水芭蕉最盛期のときに行くことができラッキーでした。

OLカレンダー

年月日	大会名ほか
10月8-10日	中止全国中高選手権（長野）
10月9-10日	中止全国中高選手権併設（長野）
10月9-10日	中止OMM- lite/Bike（滋賀）
10月9日	山川 Dream Day1（岐阜）
10月10日	山川 Dream Day2（岐阜）
10月10日	石川 健民祭（石川）
10月10日	上尾OLC大会（埼玉）
10月10日	しながわ夢さん橋（東京）
10月10日	北九州体育祭（福岡）
10月16日	秩 父フォトロゲイニング（埼玉）
10月16日	関西夏のオリエンピック（福井）
10月16-17日	北 国0（北海道）
10月17日	福井 県民スポーツ祭
10月17日	県 西公園大会（茨城）
10月17日	関 東学連新人戦（栃木）
10月17日	南アルプスマウンテンマラソン
10月17日	パーク0ツアー関西（京都）
10月23-24日	全 日本大会（長野）
10月30日	安曇野ジオロゲイニング（長野）
10月30日	阪神奈 大会day2（奈良）
10月30日	中止ねんりん前日スプ（岐阜）
10月31日	中止ねんりんピック本大会（岐阜）
10月31日	中止ねんりん併設大会（岐阜）
10月30-31日	ロゲ チャレンジ菅平高原（長野）
10月31日	クラブカップ7人1ルー（栃木）
10月31日	延期早 大OC大会（長野）
11月3日	福井 市秋季大会
11月3日	OMACHIロゲ イニング（長野）
11月6日	オリエン教室（福岡）

この大会情報は「orienteering.com」サイトを利用して作成しています。

Aiming

まだまだ「中止」の文字が並ぶオリエンテーリングの行事予定表。ワクチン接種が進み、新規感染者の大半は、未接種者になっているのに、いまだに「ワクチンは恐ろしい」という情報を流すものがありますよね。2回摂取が終わりましたが、心配された副反応もなく、つつがなく過ごしています。日常生活に戻るのはいつの日かと思いつつ、これが日常になっていくのかなあ。